

地域の魅力、再発見！



# みまきさと 御牧の郷だより

第2号

御牧ふれあいの郷づくり協議会報 平成27年4月

## 北御牧地域の いいとこさがし！

「北御牧にはこんな魅力が眠っているよ！」「みんなに知らせたい、すてきなところがあるよ！」など広報紙に掲載したい事柄がありましたら、ぜひお近くの区長、支援員までお知らせ下さい。



## 協議会報発行によせて

広報部 副部会長 井出 容子

水道をひねって水を飲む、大きく息を吸って深呼吸をする。原に登れば360度、信州の山々が見渡せる。それがいつの間にか当たり前になって何の不思議も感じない。そんな毎日を送っている人は少なくないと思います。でも、それがとても貴重なこと、すばらしい事なんだと改めて伝えられるような協議会、広報誌になればと思っています。今回の協議会報のテーマは「北御牧を再発見しよう」です。その一つとして、少子化によりだんだんと減ってきた地域行事を取り上げました。またこれからの活動を各分会ごとに紹介します。

## 地域作り部会ワークショップ

### ファシリテーター養成講座が開かれました

事務局長 真田賢一郎

北御牧のいいところを探しながら、ファシリテーター(集団での学習や議事を進行させ、促進させる役の人)について学ぶ講座が開かれました。昨年の12月から月一回の開催で、この2月まで3回行われました。講師は東御市役所企画課の渡辺敬介さん。

第一回は“北御牧絶品どんぶり”の作成。北御牧特産の食材、味付、添える産物、器を各自が思い思いに付箋に書き出して、どんぶりのメニューをグループ内で話しあって作り上げるものです。三つに分かれたグループは、チーム内から選ばれたファシリテーターの進行によってすすめられ、完成図として絶品どんぶりがイラストで表現されました。

作品の一つ『みまきノンベ一定食(そばセット)』は北御牧産のそばがメイン。竹かごで作った器に盛られたそばの



隣には、「べとの会」に製作していただいた器に薬用にしんじんのてんぷらと紅葉が添えられ、白土ばれいしょ、ブロッコリーが入ったポテトサラダ、みまき豆腐には青首大根おろし、ラフランス、じゃがいもの焼酎“牧”は竹の器に盛られています。定価は1,200円。他のチームは『有機特A食味90のトッピングどんぶり(ドカンコみそ汁付)』1,500円、『みまき満喫御膳』980円。それぞれのどんぶりの実現可能性は、いかがなものでしょうか。講座は楽しみながらの参加型ワークショップでした。出来上がった完成図をチーム代表が発表し、参加者が達成感を味わえる学習会となりました。

第二回講座は、北御牧のいいところ探しのマップづくり、第三回講座はファシリテーターを交代で体験する“北御牧もっというところプラン”の作成が行われました。



きたみまき  
 秋・冬の地域行事



### 獅子舞

中八重原区の獅子舞は、地区の子どもたちの手により受け継がれてきた、正月の恒例行事です。毎年、元旦に近くの道祖神にお参りした後、二手に分かれ地区内のおよそ100軒の家庭を廻り、今年一年の家内安全と無病息災を祈念します。終了後は、公民館での楽しい昼食会が子どもたちを待っています。



### どんど焼き

「どんど焼き」は全国に伝わるお正月行事、松本地域では「三九郎」ともいいます。小正月の13日に五穀豊穰・商売繁盛を願って、米粉でまゆ玉や稲花、小判などの形にした団子を柳の枝などに刺し、神棚付近に飾ります。これを1月15日に正月飾りやしめ縄、書初めなどを家々から持ち寄り燃やして、残り火でまゆ玉団子を焼いて食べます。これを食べると1年風邪を引かないといい、無病息災・五穀豊穰を願う行事です。最近では15日前後の日曜日に行う地区も多くなりました。(写真は北部区)



とおかんや とおかんや  
 とおかんやの わらでつぼう  
 夕飯食って ぶったたけ

### 十日夜 とおかんや

十日夜は、旧暦の十月十日(現在の暦では十一月十日)の夜に行われる、収穫祭の行事です。

地域ごとの風習はありますが、私たちの地域、布下では稲刈り後のわらを束ねてわら鉄砲を作り、夕食後に子どもたちが集まり各家の地面をたたきながら唱えごとをして廻ります。これは、地面の神をはげますためと伝えられていますが、作物にいたずらをするモグラを追い払う意味も持っています。

今年は「わら鉄砲作り講習会」をPTAと公民館の行事として行い、地域の達人から丁寧に教えていただきました。

十日夜の日、子どもたちは自分で作ったわら鉄砲を持って、大きな声で各家を廻ってくれました。



### しめなわ作り

正月行事として「しめ縄・しめ飾り」を各家で作る、年神様を迎える玄関先や神棚に飾りました。昔から大掃除が終わると藁で「ごぼう締め」や垂れの付いた神棚用のものを作ります。縄は右ねじりですが、しめ縄は左にねじる「左ない」です。各家で形やつくりの違いはありますが、和紙の紙垂(しで)を付け、神棚用には縁起物の裏白や昆布、みかんなども一緒につけます。最近では市販のものも見受けられますが、累々と営んできた地域の新年を迎える行事として大切にしたいものです。(写真は北部区の講習会の様子)



地域みんなで団結！  
スポーツで汗をながそう



〈対戦結果発表〉2015年2月22日

## 冬季スポーツ大会が開催されました

### 綱引き男子

- 👑 1位 大日向
- 2位 田之尻
- 3位 宮  
本下之城

### 綱引き女子

- 👑 1位 下八重原
- 2位 上八重原
- 3位 大日向

### 卓球団体

- 👑 1位 八反田
- 2位 大日向
- 3位 布下

### バスケットボール

- 👑 1位 御牧原南部
- 2位 八反田
- 3位 御牧原北部  
下八重原

### ゲートボール

- 👑 1位 本下之城
- 2位 畔田



## 御牧ふれあいの郷協議会 各部会の活動



### 産業経済部会

産業経済部会 部長 竹重公夫  
産業経済部会は、商工業・観光を担う商工観光部と、農業・林業を担う農業部の二部で構成されています。

今年度の事業計画として、多機能直売施設『食の郷みまき(仮称)』整備に向けた調査研究事業を行います。早い時期に先進直売所を視察し、情報を集めて問題や課題個々における解決の可能性を探る予定です。その他としては、以下の事業を実施します。

- ①ふれあい朝市での、花と農産物の直売事業
- ②斧(よき)の会では、炭焼きの継承および体験、炭の活用等の森林資源活用事業
- ③芸術むら公園の景観整備(植栽等)
- ④長いものパイプ等による栽培研究事業

### 青少年部会

青少年部会 会長 渡辺正喜  
本年度の活動については、子どもが少なく超少子高齢化となっている地区の実情を見つめ、次の二点を推進したいと考えます。第一は、今後児童生徒の減少がいつそう進むことから、北御牧地区の青少年育成活動受け入れ諸団体の見直しを行います。子どもの数に対して受け皿が多すぎるため、結果的に参加者が集まらない状況を改善することを目的とします。活動補助金も青少年部会への集約を図ります。第二は、昨年度から作成を推進している「八重原用水ガイドマップ」を完成させ、小学校との連携により第一回の八重原用水学習会を秋に実施したいと考えています。また、八重原用水社会科歴史学習カリキュラムづくりを推進します。

### 文化部会

文化部会 副部長 工藤浩平  
文化部には演奏、民謡・歌、墨絵・陶芸・篆刻・パッチワーク、郷土史、自然保護・文化交流、絵画館等さまざまな分野で活動している20団体(この程新たに「御牧自然文化交流の会」が加入)が参加しています。各団体では日頃、練習、作品創作等に取り組み、その成果は生涯学習作品展や火のアートフェスティバル、敬老会などの際に発表しています。各団体の皆さんにとって、このような活動を続けていくことは喜びであり、またその成果を多くの皆さんに觀賞していただくことは楽しみでもあり、励みにもなっています。まずご自身のための生涯学習として、また先人から受け継がれてきた北御牧地域の貴重な芸術文化、自然保護等を次世代に引き継いで、よりいっそう元気で魅力のある地域としていくために、興味や関心のあるいずれかの団体に参加していただき、ともに活動していきませんか。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。



入賞作品発表！ せんりゅう

# みんなの川柳 2014

応募総数109作品！  
たくさんの力作のご応募  
ありがとうございました！

## 最優秀賞

大塚裕子さん(切久保)

元気だよーこの土地耕すじじばばは

## 優秀賞

北御牧 地域で育てる 小さな芽  
桜井直樹さん(下八)

## 会長賞

絶景に 笑顔こぼれる お湯の里  
船田堯子さん(芸術むら)

## 副会長賞

八重原米 御牧ばれいしよ これ絶品  
井出容子さん(宮)

## 副会長賞

ケアポート 孫の笑顔が 橋渡し  
大熊節男さん(布下)

## 事務局長賞

子育てを 皆なで支える 北御牧  
荻原輝久さん(大日向)

生活環境部会では「御牧ふれあいの郷 “安心・健やかな暮らし” 川柳 2014」を開催しました。

安心して暮らせる北御牧、健やかに暮らせる北御牧など「この地域ならではの！」と感じている素直な思いや、地域の方たちと共感したことなどを、五・七・五の句として募集。109の作品が応募され、北御牧を愛する皆さんの思いが届けられました。

### 今後の活動について……

この地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、災害等の発生時にも、地域で支え合えるような活動を進めるため、地域を知り、学び、そして語り合いながら、災害時に対応した「地域マップ」づくりに取り組みます。具体的計画として、学習会やモデル地区を選定しての「まち歩き」を行い「地域マップ」を作成します。

佳作 笑顔でね 介護する人 される人  
渡辺ともゑさん(八反田)

佳作 はげかけ米 家族総出の 米作り  
宮坂美代子さん(中八)

佳作 ぴんころに おまわりしても まだいかん  
デイサービスあげだ(畔田)

佳作 御牧から 朱に染む稜線 息をのむ  
小林初江さん(南部)

佳作 災害時 声掛け一声 大声で  
山田進一さん(上八)

佳作 スーパーカー 田舎ならでは 軽トラだ  
白倉卓馬さん(上八)



## 地域を守る、みんなの笑顔のために

東御市消防団 第5分団 下八部部长 荒井宗武

本年、下八重原区・山崎区の合併に伴い、消防団においても新生下八部が誕生しました。このことにより、部員総数三十名の大部隊となりましたが、消防団活動を行う上でこれまで下八部、山崎双方の偉大なる先輩方から引き継いだ思いや伝統を継承しつつ、心機一転、新たな挑戦、仲間意識の醸成に努めてまいります。

消防団とは、平素それぞれの仕事をもちながらも“自分たちの地域を自分たちの手で守りたい”との一心で組織される地域に住む若人集団です。しかし、近年の新入団員の激減により、地域の防火及び防災力の低下が懸念される中、我々消防団員も今後の消防活動のあり方に不安を抱かざるを得ないのが実情です。このように、行く末の不安を抱えながらも、我が下八部は“やる時はやる”をモットーに日々の訓練に妥協なく邁進し続けます。また、地域のみなさまに信用され、日々の暮らしに安心と笑顔を与えられるよう、更には地域活力向上のために今後も惜しみなく消防技術の研鑽に励む所存でありますので、今後とも下八部に暖かいご理解とご協力をお願いいたします。



## 新加入団体

『御牧自然文化交流の会』が新たに、文化部会に加入しました。



## 編集後記

卒業式シーズンを終え、子どもたちは新しい生活をスタートしました。将来、この北御牧地区から出て行く子どもたちもいるでしょう。一人でも多くの子どもがこの地に戻って来なくなるように、この北御牧の生活環境を整えておかねばならないと考えます。これは大人の責務です。